



# まにわ

能登半島地震で亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

募金

能登半島地震の募金箱が市役所ロビー、振興局ロビーに置いてあります。



左のQRコードをスマートフォン等で読み取ると、真庭市議会ホームページ「市民と語る会」に報告書とアンケート結果を閲覧できます。是非、ご覧ください。

## 4年ぶりに開催した 市民と語る会 に、207人

有難う

### 総括

11月5日から11月15日、市内12か所で市民と語る会を開催し207人の参加をいただき、真庭市政について様々な意見を交わしました。

落合15人、月田24人、湯原18人、皆部13人、川東22人、富原13人、八束19人、木山14人、余野23人、美川18人、草加部14人、水田14人。会場で出た質問と答え、その場で「調査する、持ち帰る、市役所に伝える」と答えた内容も報告書に記載しております。アンケート結果も円グラフにして載せております。合計で45ページになりますので、上記のQRコードからご覧ください。紙ベースをご希望の方は市役所本庁4階議会事務局までお越しください。閲覧できるようにしています。

# 市民と語る会 班長雑感

有難う



1班 伊賀基之



2班 緒形 尚



3班 氏平篤正



4班 入澤廣成

## 地域産業の後継者不足

班長 緒形 尚

市民と語る会『ざっくばらんに語ろう』をテーマに開催した。2班は、皆部・川東・富原小学校区の3地区に伺った。市民の方から、「まにこいんの周知」、「議会の男女比」、「地域産業の後継者不足」、「少子化対策」、「チョイソコ」、「市議会議員の定数削減」等々、他にも多くの声を頂いた。今後も、市民の負託に応え、信頼される開かれた議会を目指して努力してまいります。

## 2班

市民と語る会『ざっくばらんに語ろう』をテーマに開催した。2班は、皆部・川東・富原小学校区の3地区に伺った。市民の方から、「まにこいんの周知」、「議会の男女比」、「地域産業の後継者不足」、「少子化対策」、「チョイソコ」、「市議会議員の定数削減」等々、他にも多くの声を頂いた。今後も、市民の負託に応え、信頼される開かれた議会を目指して努力してまいります。

## 議員に高齢男性が多い

班長 伊賀基之

1班で多く出された意見は、議員定数問題、また議員に高齢男性が多いこと、人口減少が進み、特に子どもの数が減り地元小学校の今後を心配される意見などが出されました。農業振興を図りたい、耕作放棄地を減らしたいという意見もありました。生活道である市道改善の要望も多かったです。市営火葬場で残ったご遺灰の処理について聞かれました。専門業者に依頼し、処理・慰霊をされているとのことでした。

## 1班



高仙の里よの

## 市民に幸福感は無い

班長 氏平篤正

八束 木山 余野を担当。班長挨拶に拍手し次調子に乗った挨拶が長いとアンケートに有り。市職員も班外議員も来て発言。公園の遊具を撤去したまま。中和の移住者は幸せそう。部活動が心配。法面の草は誰が刈る。職員が河川清掃に出ない。勝ち組と思うか、市民に幸福感は無い。グリーンパル麓山は失敗では。市長の言いなり議員はいらない。人口減少対策の個人意見を。余野にスクールバスが無い。高仙の里の遊歩道整備を。除雪が遅い。有難うでした沢山のご意見。

## 3班

市民と語る会『ざっくばらんに語ろう』をテーマに開催した。3班は、下見集会所で開かれた。市民の方から、「まにこいんの周知」、「議会の男女比」、「地域産業の後継者不足」、「少子化対策」、「チョイソコ」、「市議会議員の定数削減」等々、他にも多くの声を頂いた。今後も、市民の負託に応え、信頼される開かれた議会を目指して努力してまいります。



下見集会所

## 市長の無投票はどう思う

班長 入澤廣成

## 4班

コロナ過で3年間休止していましたが、改選により新たな議員も加わり再開いたしました。今回は「ざっくばらんに語ろう」と言うことで開催しました。ある会場では市長の無投票は各議員どう思うか、などの質問もありましたが、やはり人口減少、少子高齢化など、多くの意見、要望を頂きました。頂いた多くの意見を精査し、政策提言になればと思っています。市民の皆さんご協力有難う御座いました。

世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、パレスチナ武装組織ハマスとイスラエルの軍事衝突などたいへん不安な状況にあります。一方、市内に目を向けると、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、地域社会は次第にコロナ禍前の状況に戻りつつあります。しかし、まだ完全には戻っておらず、所得は増えないのに物価高が続く、市民生活の厳しさは増していると実感しています。すぐには経済情勢の好転が見込まれない中、議会としても、二元代表制として車の両輪に例えられる議会と執行部の連携をより密にし、市民の皆様が安心して暮らせるよう、議員全員一致団結し、この難局に挑み、乗り越えられるようまい進してまいります。

## 議員全員一致団結

真庭市議会議長 小田 康文



## 行政運営の監視役

真庭市議会副議長 妹尾 智之

3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、議会においても様々な制約を受けての活動でしたが、昨年5月から「5類感染症」になり、ようやく本来の議会活動ができるようになりました。市議会といたしましても、市民の皆さまに身近な、開かれた議会となるよう、議会の活性化に取り組むとともに、多様化する社会への対応として、市民の声に耳を傾け、市政に反映していくよう、議員一人ひとりの議員力向上にも努めていかななくてはなりません。行政運営の監視役として、市民の皆さまの声を真摯に受け止めながら、山積する課題に対して、行政と議論を重ね、解決に努めてまいります。



## 年

### 経験したことのない人口減少

産業建設常任委員会  
委員長 柴田 正志

未だ経験したことのない人口減少と単身世帯の増加という社会構造の変化の中で、誰もが安心して生活できる地域であるための新しい発想、取組が求められる時代がやってくるように思われます。市民の付託を受けた当委員会の7名の委員ひとりひとりが、住民の思いを汲み取り、自らの見識を元に、より良い真庭市となる歯車として、心をひとつに尽力してまいります。



## 頭

## あ

## い

## さ

## つ

### 市民のためのdX戦略

総務常任委員会  
委員長 加藤 大悟

令和6年を迎えて、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は「勝山高校生との意見交換会」を開催しましたが、今年も各種団体を含め意見交換を行いたいと思います。また、政策提言を7月までに決定する予定ですので、委員全員の思いを結集し市民のためのdX戦略等、政策の提言案を決定したいと思います。宜しくお願い致します。



### 開かれた議会を目指す

議会運営委員会  
委員長 岩本 壯八

6人で構成する議会運営委員会は、本会議の議事運営に限らず、議員研修や議会講演会、「市民と語る会」の開催など皆さんに関心を持っていただける議会、開かれた議会を目指す取り組みを行っています。昨年、4年ぶり開催の「市民と語る会」には多くのご参加いただき、貴重なご意見をお聞きすることができ、有難うございました。



### 循環型社会実現に向けて

文教厚生常任委員会  
委員長 妹島 弘和

文教厚生委員会は8名の委員からなり、子育て・福祉・教育・医療・環境など市民の皆さまの身近な暮らしについて幅広く担当しています。その中でも、本年は「生ごみ等資源化プロジェクト」の施設が稼働します。これに伴い、市内全域で可燃ごみとして出している生ごみの分別をお願いする事となります。ご負担をおかけしますが循環型社会実現に向けて、ご協力の程、よろしくお願い致します。



# 月定例会

会期 12月5日～12月21日

12月議会の会議録は3月上旬、ホームページおよび議会事務局で閲覧できます

【主な内容】 ●補正予算8件を可決 ●議案6件を可決  
 今回の一般質問は15人 ●発議2件を可決 ●請願1件を採択

令和5年度12月補正予算

# 22億8,759万2千円を可決しました

|        | 12月補正額    | 補正後予算額      | 対前年比  |
|--------|-----------|-------------|-------|
| 一般会計   | 20億 928万円 | 372億2,647万円 | 5.9%増 |
| 特別会計   | 2億8,004万円 | 128億5,627万円 | 0.6%減 |
| 公営企業会計 | △173万円    | 76億7,866万円  | 0.9%増 |

令和5年度補正予算 会計別集計表

(単位：万円)

| 会計名                      | 12月補正額  | 補正後予算額    |
|--------------------------|---------|-----------|
| 一般会計                     | 200,928 | 3,722,646 |
| 国民健康保険特別会計               | 737     | 502,226   |
| 後期高齢者医療特別会計              | 391     | 79,984    |
| 介護保険特別会計                 | 25,354  | 676,235   |
| 介護保険特別会計<br>(介護サービス事業勘定) | △38     | 5,256     |
| 浄化槽事業特別会計                | 0       | 4,878     |
| 津黒高原観光事業特別会計             | 0       | 2,926     |
| クリエイト管谷事業特別会計            | 0       | 935       |
| 温泉事業特別会計                 | 1,560   | 13,187    |
| 特別会計合計                   | 28,004  | 1,285,627 |
| 水道事業会計                   | △173    | 231,394   |
| 下水道事業会計                  | 0       | 352,044   |
| 国民健康保険湯原温泉<br>病院事業会計     | 0       | 184,428   |
| 公営企業会計合計                 | △173    | 767,866   |
| 合計                       | 228,759 | 5,776,139 |

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります。



森脇委員長

浅野副委員長

**物価高騰支援**  
 低所得世帯物価高騰緊急支援給付金事業に4億2,542万円を計上。真庭くらし応援クーポン券事業に1億9,320万円を計上。家庭向け省エネ性能の高い家電購入補助に1,210万円を計上。事業者向け省エネ機器購入補助に1,050万円を計上。その他、特別会計、公営企業会計は集計表のとおりです。

**一般会計 主な歳出**  
 国等の補助による事業、地方債の繰上償還や人事異動に伴う人件費、物価高騰の影響を受けた市民や事業者を早急に支援する事業を増額しています。  
 総務費では、行政機関システムの標準化に向けた準備作業を行う基幹業務システム標準化・共通化事業に1億2,060万円を計上。衛生費では、物価高騰や人件費上昇による影響により、請負代金を増額する生ごみ等資源化施設整備事業に8,073万円を計上。消防費では蒜山分署庁舎整備事業に1億5,561万円を計上しています。

**物価高騰への支援 6億4,822万円**



グリーンナブル ヒルゼン ©川澄・小林研二写真事務所

**指定管理者の決定**  
 ▼真庭市蒜山観光文化発信拠点施設（公募）  
 指定先 株式会社グリーンズ  
 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日



# 真庭市都市公園条例の一部改正

落合総合公園内の宿泊施設ハイランド落合のトイレ洋式化にともない8畳の和室を廃止するものです。

都市計画区域内にある旭川湯原河川公園・旭川勝山河川公園・旭川久世河川公園を都市公園として位置づけ、子育て世代など市民の水辺の憩いの空間を確保する。これによ



ハイランド落合 下市瀬

り市内都市公園は、17か所になりました。



久世河川公園

# 主な議案内容

## 請願

**保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める請願** **採択**

保育士の保育施設配置基準を先進国並みの配置基準に改善すべく、国に対し意見書の提出を求めるもの。審査の結果全会一致で採択し、意見書を衆参両議長など8人に提出しました。

**「最低賃金全国一律への法改正を求める意見書」採択を求める請願** **不採択**

最低賃金全国一律制度実現に向けた最低賃金法の改正の有効性を検討し、最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書を国に提出することを求めるもの。審査の結果不採択となりました。

**反対討論** 伊賀基之議員

不採択に反対である。本請願は、一定期間国が財源を確保し中小企業を支援し、現在都道府県別になっている最低賃金を全国一律にしようというもの。広がる地方と都市部の賃金格差をなくし、大都市への人口流出を防ぎ、低下する地方経済を盛り返していく大きな効果があると考ええる。

**賛成討論** 伊藤義則議員

賛成の立場から意見を述べる。①最低賃金を短期間に上げることは、99・7%を占める日本の中小企業が対応できない。経済が混乱する。②「生産性を上げる」概念が欠落している。生産性を上げることなしに、継続はできない。

**賛成した議員** 名前は議席順  
緒形尚 加藤大悟 黒川愛

## 陳情

**選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情** **不採択**

国に対し、選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求めるもの。審査の結果不採択となりました。

**反対討論** 伊賀基之議員

不採択に反対である。明治31年に同姓結婚が定められたが、戦後女性の社会進出は進み、現在初婚平均年齢は30歳前後である。社会で信用・実績などを築いてからの結婚が多く、今までの姓でキャリアや社会的活動の認知を求める女性が多い。また、男女とも自分の姓への愛着は尊重されるべきである。

**賛成討論** 浅野和昭議員

選択的夫婦別姓については

- 浅野和昭 吉原啓介 柴田正志
  - 妹島弘和 森田敏久 大月説子
  - 伊藤義則 福島一則 氏平篤正
  - 西田文子 入澤廣成 庄司史郎
  - 妹尾智之 岩本壯八 古南源二
  - 中尾哲雄 森脇正和
- 反対した議員  
伊賀基之

## 発議

**ガザ地区の即時停戦を求める決議**

ガザ地区での戦闘により、現地は人道的に深刻な危機に直面しており、この事態は見過ごすことのできないものである。すべての当事者が国際法を遵守し、ガザ地区の即時停戦と人質の即時解放を強く求めるもの。会派代表（中尾哲雄 入澤廣成 氏平篤正 庄司史郎）が最終日に発議し、全会一致で可決しました。

- 賛成した議員**
- 緒形尚 加藤大悟 浅野和昭
  - 吉原啓介 柴田正志 妹島弘和
  - 森田敏久 大月説子 伊藤義則
  - 福島一則 氏平篤正 西田文子
  - 入澤廣成 妹尾智之 岩本壯八
  - 古南源二 中尾哲雄 森脇正和
- 反対した議員  
伊賀基之 黒川愛 庄司史郎

# 総務常任委員会

本委員会は、9月14日、11月16日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《湯原振興局》

### ■旧二川福祉のむらづくり拠点施設等の解体

湯原振興局から旧二川福祉のむらづくり拠点施設等の解体について、説明がありました。

旧二川福祉のむらづくり拠点施設の主な施設は、旧校舎体育館、給食室、デイサービスホームです。

旧二川福祉のむらづくり拠点施設は、二川中学校の廃校後にデイサービスホーム等として運営してきましたが、近年は二川ふれあい地域づくり委員会に建物の維持管理を委託して、旧体育館については、地元業者に貸付けするなどして活用してきました。

令和4年4月からは、二川みらいづくりセンターが発足し、地域施設の機能集約化が図られたことにより、不要となった建物を令和6年度に解体撤去するものです。



旧二川福祉のむらづくり拠点施設 粟谷

スケジュールとしては、令和5年10月から12月に地元関係者への説明や調整し、令和6年1月から3月にアスベスト調査を実施。令和6年6月補正で解体工事費、関連予算を計上し、9月から解体工事を実施する予定である、との説明がありました。

- |      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 加藤 大悟 | 委員 | 小田 康文 |
| 副委員長 | 西田 文字 | 委員 | 庄司 史郎 |
| 委員   | 岩本 壮八 | 委員 | 長尾 修  |
| 委員   | 緒形 尚  | 委員 | 中尾 哲雄 |

## 《蒜山振興局》

### ■旧川上支局庁舎の解体

蒜山振興局から旧川上支局庁舎の解体について説明がありました。

旧川上支局庁舎の施設区分は行政財産であり、大正8年に建築された木造部分と、昭和58年に建設された鉄骨造部分に分かれています。

旧川上支局庁舎は、川上村庁舎として建設され、真庭市の合併後は、支局として利用されてきました。

平成20年に、現蒜山振興局へ集約化し、庁舎機能がなくなった後は、鉄骨造部分を社会福祉法人へ「川上児童クラブ」として貸付けて活用してきましたが、令和6年4月から児童クラブは川上小学校内へ移転し貸付けが終了します。

建物の老朽化も進んでおり、将来的な維持管理や、解体費用を含めて検討した結果、令和6年度に解体撤去します。今後のスケジュールとしては、令和6年1月から3月にアスベスト調査を実施し、令和6年3月末で、行政財産の用途廃止。令和6年6月補正の予



旧川上支局庁舎 蒜山上福田

算で、解体工事費等を計上し9月頃から解体の工事を実施する予定である、などの説明がありました。

**問** 平屋の棟の飾り瓦を残してくれなどの依頼や要望はないか。

**答** 現在のところないが、もしそのような要望が出た場合には何らかの対応はとらせていただこうと考えている。

# 文教厚生常任委員会

本委員会は、9月13日、11月17日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《教育委員会》

### ■土曜授業の廃止

学校教育課から、土曜授業の廃止について説明がありました。代休日を設けずに、土日祝日を活用して授業や行事を行う土曜授業を学期に1回、実施してきました。教員の長時間労働解消の取り組みを行っている中、県内で全校実施している自治体は真庭市を含め、2自治体です。市としても、教員の働き方改革を一層推進するため、令和5年度をもって、廃止すると説明がありました。

### ■遊び場づくりモデル事業の進捗

生涯学習課から、遊び場づくりモデル事業の進捗状況について説明がありました。

子どもが自発的に自由に遊ぶことができる時間を作り出すため、今年度、子どもの遊びを見守ることができ



遊び場づくりモデル事業 よのであそぼ

人を増やすことを目的に、「遊ぶ機会」や「学ぶ機会」を設けるモデル事業を行っています。7月から9月まで、市内3か所で郷育魅力化コーディネーターや家庭教育支援チームなどの実働部隊とともに外遊びの企画を行いました。今後も、外遊びの企画を市内で開催していく予定で、遊びや学びの情報発信の手段として、ポータルサイトの開設を今年度中に予定しているとのことです。

- |      |      |    |      |
|------|------|----|------|
| 委員長  | 妹島弘和 | 委員 | 氏平篤正 |
| 副委員長 | 黒川愛  | 委員 | 大月説子 |
| 委員   | 浅野和昭 | 委員 | 古南源二 |
| 委員   | 伊賀基之 | 委員 | 福島一則 |

## 問

市内各小学校区で児童だけでも参加できる取り組みはできないか。

## 答

今年度はモデル事業である。今後は、児童だけでも参加できるような場所での開催も順次増やしていきたい。まずは、大人の理解を広げることに注力する。

## 《生活環境部》

### ■生ごみ等資源化プロジェクト

環境課から、生ごみ等資源化プロジェクトについて説明がありました。このプロジェクトは、生ごみの収集から、バイオ液肥への再生、濃縮、そして農地への運搬散布までを一連の業務として行い、生ごみ等資源化施設の整備に伴う、廃棄物処理施設の集約化や簡易中継施設の整備を含めた事業です。

廃棄物処理施設の集約化には、市民の皆様にも、生ごみをはじめとした資源となるゴミの分別に協力していただき、可燃ごみの量を削減していくことが課題であり重要な点です。令和6年1月から順次、自治会長向けの全体説



生ごみを出している様子 久世地内

## 問

処理手数料の改定は、コストの問題というよりは政策的な価格改定なのか。

## 答

処理手数料改定により、資源となるごみの更なる分別につながっていきたい。市民皆様の負担や近年の原材料価格高騰も踏まえ検討していきたい。

明会や自治会単位など細やかな単位での出張説明会を開催していきます。また、可燃ごみの減量化、資源ごみの分別の推進に向け、今日の物価高騰の影響を踏まえ、廃棄物処理手数料の改定について、廃棄物減量等推進審議会でも検討していくと説明がありました。

# 産業建設常任委員会

本委員会は、9月15日、11月15日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

## 《北房振興局》

### ■北房ほたる公園の整備方針について

北房振興局から「北房ほたる公園の整備方針」について説明がありました。方針に掲げる基本理念は2つ

- ・「ホタルの生態が学べ、ホタルを通して人と自然が共生できる場」
- ・「子どもから大人まで誰もが集い交流できる癒やしの空間」

改修整備の主なものは、ホタル館と遊具の改修、遊歩道周辺の整備であり、令和5年度で改修整備の設計を行ない、令和6年度当初予算に改修整備工事費を計上、同年度中に工事を行う予定としているとのこと。

**問** 施設整備後の運営とか、維持管理が重要と考えるが、具体的な計画は検討しているのか。

**答** 遊具の事故等が起きないように、毎年定期点検を行っている。職員も定期的に訪れて目視を行っている。



現在の北房ほたる公園 下啓部

ホタル館は、無人で自由に出入りできるが、トイレ清掃に併せて館内清掃も定期的に行っており、管理は出来ると考えている。

- |      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 柴田 正志 | 委員 | 妹尾 智之 |
| 副委員長 | 森脇 正和 | 委員 | 森田 敏久 |
| 委員   | 伊藤 義則 | 委員 | 吉原 啓介 |
| 委員   | 入澤 廣成 |    |       |

## 《落合振興局》

### ■農村RMOモデル形成支援事業の進捗状況について

落合振興局から「農村RMOモデル形成支援事業の進捗状況」について説明がありました。

この事業は、吉縁起村協議会を中心に、吉地域が吉地域将来ビジョンに沿って、中山間地域における地域課題の解決に取り組んでおり、吉将来ビジョンに掲げる農用地保全、地域資源の活用、生活支援の3つの取り組み目標により事業実施されたものです。

農用地の保全では、担い手の高齢化に対して、ラジコン草刈り機によるスマート農業の導入や、国土交通省の事業を活用してGISを使って子ども達が地域内を歩いて収集してきた農地、水路、空き家等の情報を活用してデジタルマップ化を行いました。

地域資源の活用では、スイオウや大吉米の特産品ブランド化に向けて、パッケージを作成し、販売を始めていき、生活支援では、地域の話し合いの中で「ちよつとした足りないもの」が

買えない。子ども達の「コンビニが欲しい」といった意見をきっかけに、無人キャッシュレス決済の店舗を作りました。

落合振興局は、吉縁起村協議会の一員でもあり、国や関係機関との橋渡し、事業、事務の助言など、引き続き伴走支援を行っていくとのこと。

**問** 農村RMOモデル形成は、どういふことを目指しているのか。ほかの地域でもできるのか。

**答** 最終的なゴールは、地域自治体が行い、自分たちで予算を確保し、自立していくことを目標にしている。

他の地域への波及について、この事業は農業振興課と連携して行うと同時に農村RMO推進フォーラムでは、交流定住推進課の課長も出席して一緒にこの事業を研究している。他の地域でも条件がそろえば可能だが慎重に各課と連携して検討したい。



GIS作成のための現地調査の様子 吉

# 一般質問

12月定例会の議事録は  
3月上旬から閲覧できます  
一般質問の記事は、800字以内で質問  
した議員本人がまとめています

柴田 正志



誰もが安心の  
墓地行政を

少子化や若者の転出などに  
より管理する人がいなくなる  
無縁墓の増加が新たな問題と  
なっている。

①真庭市の市営墓地で無縁墓  
はどういう状況なのか。②今  
後需要が増えると予想される  
共用墓地（合葬墓）について  
どう考えられるのか。③墓地  
を承継する際に跡継ぎが市外  
の場合は市内に代理人を必要  
とすること

答 弁 者



三ツ宗弘教育長



太田昇市長

は墓地を維  
持していく  
障害にな  
る。市民の  
市営墓地の  
活用促進の  
ためにも条

例改正を検討すべきでは。（総  
社市は使用者自ら墓所の管理  
ができないときに市内に居住  
する代理人を定めるとなっ  
ている）④地域においてます  
す増えると予想される放置さ  
れるお墓について何らかの対  
策は必要ないか。⑤樹木葬な  
どの新しい埋葬スタイルも出  
てくる中での、これからの墓  
地行政について問う。

答 太田市長

①市営墓地は21カ所あり年間  
維持費を徴収している墓地に  
無縁墓はなく、縁故者の把握  
もできている。②個人の墓地  
は要らないという価値観の人  
が増えてくると予想し鳩ヶ平  
墓地公園に合葬墓を造ってい  
る。③縁故者が市内にいるこ  
とで無縁墓の増加抑制につな  
げることで想定している。現  
時点で墓地条例の一部改正は  
考えていない。④個人の墓の  
無縁墓、放置も大きな問題で

ある。⑤鳩ヶ平にはまだ余地  
があり今のが仮に満杯になっ  
ても増設すれば十分墓地を造  
れる状態である。真庭市は一  
つであるので必要に応じて鳩  
ヶ平を開発していけばよい。  
樹木葬を希望される方は民間  
でやるところもあり、今  
の段階ではそういうところに  
お願いできればと思う。個人  
の墓地で管理できなくなった  
お墓の改葬もできる。手続き  
は市に言ってもらえば、石塔  
を造らない合葬が鳩ヶ平で  
できるとか、情報をもっと市民  
に提供し、将来無縁墓が地域  
に点在することがないように  
考えてやっていきたい。



市営の鳩ヶ平墓地公園

## 執行機関に対する監視機能

議会活性化特別委員会 委員長 妹尾 智之

議会改革の一環として、昨年「議会活性化特別委員会」を設置、二元代表制の一翼を担う議会は、執行機関に対する監視機能の一層の強化と、市民に対する最終決定機関としての議決責任はもとより説明責任が求められています。今年一年、議員一人ひとりがより議会改革に向け、議会としての役割と責任を果たしてまいります。



左から 黒川ICT化部会長、庄司立案部会長、妹尾委員長、森脇検証部会長

## 読みやすく分かりやすい広報紙

議会広報特別委員会 委員長 浅野 和昭

謹んで新春の祝詞を申し上げます。本年も皆さまに読みやすく分かりやすい広報紙の編集に努めたいと思います。議案審査や各常任委員会での調査研究など、市民の皆さまの暮らしに直結する内容を分かりやすく掲載します。その他、議会に提出された請願や陳情の結果なども掲載します。本年もよろしくお願いたします。



左から 加藤 西田 森脇副委員長 浅野委員長 森田 氏平

年  
頭  
あ  
い  
さ  
つ

黒川 愛



### 問 広い真庭の移動と住まい

高齢化社会、安心して暮らすための移動と住まいの取り組みは、福祉との連携は。市民の安全な暮らしの確保は。厚労省がサブリース方式も話している。

### 答 太田市長

ミニ二東京をつくりたくない。足の確保はより充実させる。子育て世代、若い世代、高齢者、障がい者に公営住宅の供給は必要。空き家や民間賃貸住宅の活用等、市内それぞれの地域に合った住宅政策や交通施策等を、総合政策で連携していく。

### 問

### 子どもまんなかの行政

①待機児童の解決を。隠れ待機児童も社会問題。②「結局市はやる事が決まっている。会議などはポーズだけ」「意見が何ひとつ反映されていない」



講演会 “大丈夫”の種を蒔こう 中央図書館

と、市民数名から聞いた。市長も部長も「丁寧な説明をしている」と言うが、不信感募るばかり。説明責任は。③子ども・子育て会議は、設置以来、園整備や定員の話ばかり。一体、どこで子どもの育ちの話をするのか。④保育・幼児教育・教育委員会の連携が課題。

### 答 太田市長

②市民意見を参考に、今までも今後も、できる限り予算化の姿勢。③子どもや子育て支援に対し、様々な角度から議論する場。重点があり、集中してやる。④総合教育会議で理念を共有。こどもはぐくみ応援プロジェクトで、一体的に取組み中。教育委員会の固有の権限を尊重し、連携して進めていく。

### 答 三ツ教育長

④市長部局と連携し、子どもの成長を切れ目なく支える。遊ぶ機会づくりで、年齢を超えて子どもたちのやってみたいことの実現と、大人の緩やかなつながりづくりを進めている。

### 答 樋口健康福祉部長

①11月末で21名の待機児童。真庭市は隠れ待機児童数は公表しない。保育士確保施策をやっていく。④総合教育会議で、子育て支援課も一緒に入りながら議論を深めていきたい。

森田 敏久



### 問 学力調査結果に関する真庭市の課題

①中学校での教科も平均を大きく下回っているがその原因は何か。  
②学習指導要領で重視している数学的な見方・考え方がどう行われているか。  
③読解力に於いても見方、考え方が深くかかっていると考えるが、この点についても伺う。

④対話的学びが重要と考えるが、普段の授業で解決できるのではないか。  
⑤中学3年生理科にパソコン端末を利用、出題、回答する新方式が導入されるが、どう対応して行くのか。  
⑥調査の結果を今後教育施設改善・指導にどのように進めていくのか。  
⑦学力・学習状況調査の結果を見て全体の課題と取り組みについて伺う。

### 答 三ツ教育長

基礎学力は考える力の土台と考える。指導改善は教員の大事な仕事と考えている。  
①上位層が少ない。市外の県立・私立に出ていくのは間違いない。  
②複数の情報から特徴や関連を見つけ、習っていない問題を解決する場面を重視した授業を進めている。  
③今後何を学びたいかを文字言語でアウトプットする事を、重視する。  
④いろんな価値観の者が知恵を持ち寄り対話し最適解を探る。  
⑤現在行っているのでスムーズ移行は可能と考える。  
⑥地域参画の学校づくり、地



期末考査中 市内中学校

### 問 避難場所のMIIT利用料減免

域学校協働活動の伴走支援を強めていく。  
⑦教職員が授業改善に傾注できる環境作り、丁寧な指導ができる体制作りを整えて行きたい。

### 問

集会所・コミュニティハウス等指定避難場所にテレビの設置、MIITの加入時負担金、月額利用料を減免する考えはないか。

### 答 太田市長

自主防災組織補助金を活用して欲しい。MIITへの加入負担金半額、月の利用料全額免除の制度もある。

伊藤 義則

問



共生社会の具現化と普及活動

オストメイト（人工膀胱保有者）の方から話を聞いてほしいと連絡を頂いた。障がい者手帳をもらって初めて、車椅子ご利用の方が「ほっとパーキング」に停めることが出来ずに遠い駐車場から店舗へ入る姿を見たとのこと。以



市内金融機関のほっとパーキング 上水田

来、その方は「ほっとパーキング」の利用を控えているといわれた。その上で、今まで遭遇したことを語り始められた。「ほっとパーキング」のゼブラゾーンに自転車が2台停めてあったので注意すると「スペースが空いていた」と返答された。仮設売場を「ほっとパーキング」の上に作るうとした。「ほっとパーキング」利用時に、車の前方に利用証を掲示していない方がいる。ヘルプマークについても周知してもらいたい。私も万一の時には助けて頂く立場です。調査すると「ほっとパーキング」に関して岡山県要綱があります。小学校では人権学習でシンボルマークの意味と行動を学ぶようです。我々大人はどうでしょうか、障がい者に関するシンボルマークを正しく理解し、適切に行動できますか。下記を市長に伺う。

① 真庭市内の「ほっとパーキング」は31施設56区画です。内17施設は公共施設です。真庭市の障がい者が快適に生活する

ためにもっと数が必要だと思

うがいかか。

② また、どう具現化するのか。

答 太田市長

① 令和6年4月から、事業者による障がい等のある人への合理的配慮の提供が義務づけられる。民間の方に協力頂けるよう県、商工会とも連携し周知啓発を図る。

② ヘルプマークは4月の「広報真庭」でも紹介しているが、障がい者週間はもちろんあらゆる手段を通して共生社会の実現を市民と一緒に目指す。

大月 説子

問



医療的ケア児への支援の推進を

令和5年度に医療的ケア児訪問看護レスパイト事業を開始したが、支援を更に進めていく必要があると考え以下の3点を提案する。① 事業の年齢と時間的縛りの拡大を。② 医療的ケア児の保育園、認定こども園、幼稚園への入園整備とガイドラインの作成を。

③ 家庭用ごみ袋の配布を。

答 太田市長

① 今のところ月平均上限の9割の利用で問題はないと把握しているが十分調べる。

② 希望する子どもが出た場合は、精一杯のことをしなければならぬと思っている。が、保育士の数、体制確保を必死に行っている。また、看護師資格を有する専門人材の確保に向けて県の協力も得ながら一生懸命取り組んでいく。

③ 医療的ケア児に限らず、在宅で常時紙おむつを使用している人は沢山いる。廃棄物全体の量と頻度、費用、財政負担問題を含めて広く考えていきたい。

リエイブルメント・サービスの推進

問

リエイブルメントとは、再びできるようになること。健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で暮らし続けることを誰もが望んでいる。重度化防止のためには、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施は重要な課題。更なる

答 太田市長

施策の推進強化が必要で、現状の課題と今後の方針を伺う。



津田さくら健康サロン 旦土

令和4年8月から短期集中パワーアップ塾を現在2事業所で行っている。勝山に偏りがあるのもっと広げたい。介護認定で介護や支援が出た場合は、回復できるように頑張っていく。2つの事業所の実績は、事業開始から28名である。

地域を活性化する施策としては、週一回の集いの場事業を実施している。現在92か所あるが120か所以上にすることを目指している。

妹尾智之

問

被災者の生活再建を



被災後の生活再建に向けた様々な制度の周知強化について、埼玉県和光市では「防災ガイド&ハザードマップ」の最終ページに、被災後のお金住まい、契約の問題と称して罹災証明書、被災者生活再建支援金、災害弔慰金、災害障害見舞金、義援金、住宅の応援修繕、各種支払いの猶予、減免措置、被災ローンの減免制度、各種紛失対応等、様々な生活再建の制度を掲載し災害から市民を守る防災対策の在り方で、被災した後の生活を再建する、様々な制度を事前に知っていれば備えになり、防災・減災につながっていく。問題は、自分を守る制度を知らず申請を行わない被災者が多数いることである。真庭市においても市民の命と財産を守る情報として、真庭市洪水土砂災害ハザードマップへの掲載やチラシを作成し、全戸へ配布してはどうか。市長の所見を伺う。

答

太田市長

制度を十分に理解して市民の方に伝える。実践的に対応できるように職員を育て、私も含めて体制を組んでいく緊張感を常に持ち続けている。

答

今石危機管理監

制度を事前に知っていれば、当然市民の方の備えになる。防災・減災にも当然つながってくるかと考えている。職員も知らないことが多い、市民にも伝わっていないことが多い。分からない人が分からない所に行つて物を聞くことになる。非常に大変なことになる。良いリーフレットを紹介していただいたので、いろいろな

被災されたみなさまへ

災害時の「住まい」と「生活」の再建に向けて

このリーフレットは、災害発生後、被災された方に、支援制度を知ってもらうために作成しています。災害時に受けられる支援制度は、災害の規模や被害の程度により異なりますので、制度を活用する際は、自治体にご確認ください。

内閣府(防災担当) 令和5年7月作成

各種手続に必要な「り災証明書」

「り災証明書」は、災害による住宅の被害の程度等を証明する書類です。被災者生活再建支援金などの申請のほか、税金の減免、各種融資などの様々な申請に必要になります。

- 交付窓口は、各市町村です。
- 申請すると、市町村職員による住宅の被害認定調査が行われ、後日、調査結果に基づき「り災証明書」が交付されます。
- 手続には、申請書、身分証明書等が必要ですが、

災害発生後、支援制度を紹介しているリーフレットの一部

伊賀基之

問

非核平和都市宣言の啓発塔の再建を



機会を通じて市民の皆様に分かりやすい制度の一覧をつくらせてほしい。

真庭市議会は、非核平和都市宣言を可決し、啓発塔が建てられていた。しかし、現在は撤去されている。パレスチナ紛争などの中、真庭市民の決意と願いを広めるためにも、啓発塔の再建を行うべき。

太田市長

真庭高校の魅力化にバックアップを

問

真庭高校は魅力化の柱として、マイスターハイスクール事業に取り組んでいる。先進的専門性を持つ職業人の育成という本事業には、高校の存続が懸かっている。市は、地域の人材・資源を活用し、強力にバックアップすべきである。また、寮の費用を無料化するなど、直接的支援での魅力化は考えられないか。

答

三ツ教育長

強い危機感を持って、高校と向き合ってきた。地元農業法人から農地の提供を受け、加工販売には地元業者の協力を得ている。学校運営へは、市または市教委が関与できるように働きかける。寄宿舎への支援は、蒜山校地で考えている。



魅力化を図る真庭高校落合校地落合垂水

問

スクールバス対応、改善の余地あり

教職員の働き方改革が叫ばれて久しいが、大きな変革は見られない。スクールバスが、勤務開始より40分近く早く来る学校がいくつかある。下校バスが一便しかない学校は、低学年の待ち時間に職員の対応が必要になる。改善の余地がある。持ち帰り残業への取組はどうなっているか。

答

三ツ教育長

改善の余地はあると考える。関係者で知恵を寄せ合っていく。持ち帰り残業については、業務の改善に努めながら人の確保について県・国にも働きかけていく。

緒形 尚

問

本格稼働は  
令和6年10月



廃棄物処理施設は、廃棄物の適切な処理を維持しながら地域の脱炭素化、雇用創出、地域経済の循環住民サービスの充実など、多面的価値を創出する。

これまで一般的に抱かれていた『廃棄物処理施設＝迷惑施設』というイメージが軽減され、住民合意形成や廃棄物、資源循環に対する市民の意識を高めることにも結びつく。取組を通して住民が暮らしやすいまちとなり、地域自体の魅力向上に繋がる可能性も感じる。

真庭市が進めている生ごみ等資源化プロジェクトは、令和6年度中の本格稼働に向け、生ごみ等資源化施設及びバイオ液肥濃縮施設の整備について市長に伺う。

①施設整備は計画どおりか。  
②生ごみの分別は、市民の理解と協力が最も重要だが普及啓発は。

答

太田市長

③可燃ごみの減量化に伴う焼却施設の集約化や簡易中継施設の整備は。

①生ごみ等資源化施設は約90%で今年度末に工事が完成する見込みで、液肥濃縮施設は約30%で来年9月の完成を予定している。

②来年1月から自治会単位や事業所などで出張説明会を随時開催する予定。説明会では、生ごみ等の資源化による目指す資源循環の仕組みや効果、なぜ資源となるごみの分別が必要なのか丁寧に説明する。映像も作成して普及啓発を行う。

③焼却施設の集約化は、クリーンセンターまにわに集約



赤野 生ごみ等資源化施設が進む工事

する。北部クリーンセンターは、来年9月末までに休止する。コスモスクリーンセンターは、可燃ごみの削減状況を見ながらなるべく早く休止する。

簡易中継施設の整備は、北部クリーンセンターの休止に合わせ、既設のストックヤードを活用していく。

久世・勝山の簡易中継施設は、場所を今調整している。落合・北房は、コスモスクリーンセンターの休止に合わせて開設する。場所についても検討している。

吉原 啓介

問



情報発信の取り組みと今後の方向性

情報は届けたい相手、必要とする当事者に適時適切に届かなければ、せっかくのポテンシャルが十分には活かされない。

情報の発信、共有と伝達は市の共生社会推進、dX戦略においても重要な基盤要素である。情報発信に係る技術や



情報は必要とする相手に伝わるのが一番大事

手段、体制、環境整備を含めた現状課題、今後の方策等の検討と推進に関する市長の考えを伺いたい。

また、必要なこと・大事なことについてはある意味強引に伝えるような、プッシュ型の情報発信についても検討が必要であり、これもdXの「X」の重要な部分ではないかと思う。

具体的には、まにこいんのプッシュ機能、こういったものを活用するというような考えはないか。

答 太田市長

私も同じ思いを持っており、市内がもちろん一番大事だが、もっと市外に向けて情

報発信することを考えるよう指示もしている。

市内に関しては、広報紙、告知放送、いきいきテレビ、ホームページ、SNSが中心で、特定の情報、例えば観光の情報であれば真庭市交流定住センターというようなことで発信している。

報道機関に関しては、各部署、振興局を含めて、広報主管というのを置いて、どういうことをマスコミに出せばいいのか、どういう切り口で出せばいいのかとか、そういうようなこと意識を持って報道機関に報道依頼をするように、取り上げてもらうようにしている。あらゆる手段を使って、情報公開徹底しながら情報発信をしていく。

答 木村総合政策部長

まにこいんのスーパーアプリ化ということで、各部署、各担当課、このアプリの中で何ができるか、その中にはそういったプッシュ型の通知だけでなく、可能であれば給付金等もプッシュ型でやっているか、というところも踏まえて、検討を進めている。

妹島弘和

問



火災・消防水利

今年は今久世地区で大きな火災が相次いだ。8月の研矢地区の火災は消火に必要な水が不足していた。

消防水利には消火栓、防火水槽、プール等の人工物と河川、池など自然なものがある。7年前の熊本地震では水道が断水して消火栓が使えなかった。防火水槽もあるが、最後は川の水である。

研矢地区の東に幅4m程の小谷川がある。葦が密集しており、川底には根が張り詰めている。給水管をつけても根の上で多分吸わない。三阪川もそうである。

市内の川はほぼ一級河川で県の管理である。

①消火用の水の確保のため県に清掃等を強く要望すべきである。

②市民の生命と財産を守るのが市の仕事。もし、火事になって困るのは市民である。担当課は水の少ない所は把握していると思う。そういう所の川



一級河川小谷川の今 久世・研矢地内

だけでも市が行うべきである。

③北町も水利に乏しい地区である。以前の北町公園にはプールがあり防火水槽として地域の方は安心してしたが、今はない。公園が今後整備される中、防火水槽等も造るべきである。

答

太田市長

①葦が生え茂っているとか、それと消防水利の関係は想定していなかった。改めて今その認識をした。県にも提起している。消防水利の話も加わったので、今後とも大きな

課題として取り組んでいく。

②河川法上、河川を掘削することは県の許可を得れば可能であるが、県が消防水利のことも含めて考える必要がある。河川法にはきつい縛りがあり、市が許可を取ってやりますとは、たやすく言えない。

答 頭山建設部長

③現在、北町公園は基本構想を練っている。地域の皆様からそのような強い要望を聞いている。防火水槽のみならず、様々な防災機能を備えた公園を造っていきたい。

加藤 大悟

問



自然災害のリスク等は各分野に包含

少子・高齢化と人口減少を止めるために4つの政策以外に補充すべき政策があると思う。自然災害のリスクの低減、買物環境の充実、交通インフラの充実等も重要である。人口減少対策として補充すべき政策について見解を尋ねる。

答

太田市長

少子・高齢化、人口減少の関係ですが、人口というのは社会経済情勢の変化で決まってくる。国土交通省の国土の長期展望専門委員会の資料を見てみると、日本の2050年には約1億人。

2100年、80年後くらいには、中位の推計で5,900万人、6,000万人、高齢化率が38%、4割弱。さらに、一番低い場合だと、約5,000万、4,972万人ということで、あと80年ほどたてば、日本の人口が半分になっ



クリーンセンターまにわへのアクセス道 三阪

ているということ。

真庭においても、2040年国の研究所の推計だと、3万2,800人と推計しているのを2次計画で3万4,000人を維持することで、それを目標にしている。

自然災害のリスク低減や都市的利便性の向上、買物環境の充実、公共交通の充実の取組は基本目標として、個別具体的に掲げていないが、それぞれの分野に包含している。

側溝と車道境界が不明確は十分対応

問

県道久世中和線からクリーンセンターまにわまでの市道の管理と景観がよくない。側溝の一部は草が覆い、車道との境界も不明瞭である。

また、道路斜面も景観がよくない。このような状況を改善すべきだ。

答 太田市長

側道と車道との境界が不明確である現状など、安全性の問題になることがあるので、それについては十分対応していく。

森脇 正和

**問**



**交付税追加配分の  
使い道は**

2023年度に地方交付税の追加配分する方針を固めた。真庭市においても交付税の増額が見込まれる。この使い道について問う。

**答** 太田市長

減債基金に積むことと経済対策に使うていく。

**森林環境譲与税  
配分見直し**

**問**

真庭市議会においても6月の定例会で森林環境譲与税配分基準の見直しを求め、意見書提出の発議を可決し、意見書を提出した。政府・与党は、自治体に配分される森林環境譲与税配分基準を見直す方針で検討に入った。この基準見直しで真庭市も増額が見込まれるがどう使うていくか問う。

**答** 太田市長

森林整備、木材の利用や普及啓発、人材育成に使うていく。

**学校における  
薬物乱用防止教育は**

## 大麻成分入りの 食品に注意!

DANGER

大麻やその類似成分の入ったクッキーやチョコレート等の食品が販売されている場合があります。

大麻は、身体にさまざまな悪影響を及ぼす違法な薬物です。どんなに甘い言葉で誘われても、決して手を出さず、きっぱりと断りましょう。



大麻成分入りクッキー



大麻成分入りチョコ

資料 真庭保健所提供

**問**

昨今、大麻の栽培、所持使用のニュースをよく聞く。インターネットなどでは、大麻は安全であるなど間違った情報もあふれている。真庭市の学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止の取組を問う。

**答** 三ツ教育長

薬物乱用防止教室を全中学校、ほとんどの小学校、複式学校もあるので5・6年生で行なっている。教員の校内研修も実施している。

西田 文子

**問**



**脱炭素社会に向けて**

水と二酸化炭素から合成燃料が開発されているが、普及は難しい。

2030年に電気自動車も普及させると言っているが、車両価格が高い、燃費、充電インフラの問題がある。公用車の次世代化は何%出来るのか。

脱炭素社会に向けて様々な



電気自動車の公用車 市役所本庁舎

取り組みが出てくると思われるが、取り残されないよう魅力ある取組があるのか問う。  
また、バイオマスの第二発電所の計画はどの程度進んでいるのか問う。

**答** 太田市長

バイオマス発電所、生ごみ等資源化施設に代表されるよう、民間と一緒に地帯資源を活用した持続的な取組を行っている。環境にやさしい再生可能エネルギーを自給していくこと、農山村ならではの地域資源を活用し、自然を守り、地域産業に繋げることで、環境と経済と暮らしを

関連させていく。

脱炭素社会に向けて、真庭らしい取組を進めていきたい。

**答** 石井産業観光部長

公用車の次世代自動車化は、普通自動車は全部する目標でやっている。

第二発電所の話が出てきて以降、課題は燃料の問題。燃料のために切出すのは難しい。森林資源の管理、木材産業の関係をやっていく。

儲かる仕組みを作りながら、バイオ燃料が出てくることを頑張る。それから、新電力の検討を進めている。

浅野 和昭



**問** 医師等の人材育成

真庭地域の医師数が減少して深刻な問題となり、地域医療へ影響を与える事が危惧されている。医師は地域で養成、育成支援を行い、共に育て支える必要があると考える。小学生低学年位から高校生までが使えるような奨学金の創設についてはいかがお考えか。制度があれば利用するかどうか、選択するのは児童・生徒であり、家庭・保護者であり、可能性の一つとして提案した。

**答** 太田市長

深刻な医師不足あるいは医療関係者不足の問題はある。奨学金等様子を見なければ。半端な額では駄目である。

**問** 婚姻数向上へ

10年後、20年後の真庭市を考えると、人口減少対策が喫緊の課題である事は間違いない。婚姻の成立数こそを一丁

3. 結婚・出産・子育ての希望と教育・社会福祉を地域で支える仕組みをつくる

| 1) 重要業績評価指標                                            | 基準数値<br>(R3.3.31) | 目標<br>R4年度末 | 実績<br>R4年度末  | 達成状況<br>(達成率) | 評価<br>(5/2) |
|--------------------------------------------------------|-------------------|-------------|--------------|---------------|-------------|
| ■年間出生数：5年後に250人から300人程度を維持                             | 252人<br>(R3.4.1)  | 250~300     | 202          | 81%           | A           |
| ■出産年齢女性人口割合：15%程度を維持                                   | 15.1%<br>(R3.4.1) | 15          | 14.80%       | 98%           | A           |
| ■地域や社会をよくなるために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合：小学生65%以上、中学生50%以上 | 小学生54%<br>中学生48%  | 55%<br>49%  | 54%<br>52.8% | 98%<br>107%   | A           |

重点的施策及び重要業績評価指標 (KPI)

| 重点的施策(中事業レベル)                                                | 重要業績評価指標 (KPI)                         | 基準数値<br>(R3.3.31) | 目標<br>R4年度末 | 実績<br>R4年度末 | 達成状況<br>(達成率) | 評価<br>(5/2) |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| 本町の町の町の<br>の若い人の交流などを通じて、人と人の出会いの場をすることで、結婚の希望がかなえられるよう支援する。 | 真庭市成婚数：145組/年<br>1/1~12/31 市内窓口<br>受理分 | 136組              | 145組        | 104         | 71%           | B           |

真庭市 令和4年度の成婚数など

目一番地の施策として、更なる施策が必要ではないかと考える。令和4年の真庭市内の出生数は222人である。第2期真庭市総合戦略では令和7年度まで年間出生数を250から300人程度維持とある。年間出生数が300人でも、岡山県が示す勝山高校と真庭高校の2校の存続基準を下回り、高校維持は難しくなり、その後の目標数値としている市内新規雇用者数は目標を大きく下回るのではないかと危惧している。市内の企業や事業所は存続に必要な人材を確保できるのか心配で

ある。真庭市において令和7年度までの成婚数と出生数の目標を上方修正し、それに伴って更なる支援策が必要ではないかと考えるかがかか。

**答** 太田市長

婚姻数の推移は令和元年度が143組、令和3年度119組、令和4年度104組、本年度は11月29日現在で10組となっている。もともとやれる事が色々あるんじゃないかということも含めて鋭意検討する。今はまず現実をしっかりと見つけ、まい進していくという事に努める。

岩本 壯八



**問** 林道のコンクリート舗装化

林道の総延長は333km、その内舗装済み区間は131km余りで、舗装整備率は約40%。60%が未舗装だ。集中豪雨により林道が雨水で浸食され、土砂が谷に流入し、堆積を加速させている。これを公費で浚渫するという悪循環に陥っている。林道は、大型重機や運

搬車を利用するため荷重に耐え得る構造材が求められると共に、草刈り等の管理軽減のためにはコンクリート舗装が最適。

また、経営環境が厳しい小零細建設業者や生コン業者への支援となり、整備計画を策定し、コンクリート舗装化を進めるべきだ。

**答** 太田市長

コンクリート舗装の方が良いのは、はっきりしている。森林環境譲与税も増額され、農山村への配分が増えるので、林業活性化を努める中で、コンクリート舗装を進められればと思っている。

**問** 地域で支え合う共生社会へ

地域で支援する側と支援される側との区別を取り払い、得意分野を生かして地域で支え合いながら安心して暮らせる共生社会の実現が求められる。こうした取組に必要なのが高齢者の活躍である。現役時代のスキルや経験を棚卸し、新たな役割を担う多様な



ささえあいデイサービスの一コマ  
山久世AKBJ:明るく健康なばばじ

**答** 太田市長

そういう団体の活動を前提にした地域共生社会の実現を掲げて事業を展開したい。

場につながるべき。地域で支え合う共生社会にふさわしい活動をしている3つの団体に注目している。一つは、有償ボランティア団体「久世生活支援グループなでしこ」。久世地域を中心に活動している。二つ目は「農村型地域運営組織 (RMO) の吉縁起村協議会」の活動。特産品を自ら開発・販売し、デマンド交通も自分たちで実施。三つ目は、地域の元気な人たちが地域の高齢者を支援する「支え合いデイサービス団体」だ。



MANIWA

SHIMIN  
NO  
HIROBA

# 市民の 広場



ここは市民みんなで  
つくるページです  
楽しい気持ちでご参加  
ください 敬称略



よお! KEI君 PN 真庭のじじい



ご利益ありますように 紀由香

▲さあ、やるぞ PN カタクリ



ひしおの石アート To



蝶と藤 清友和美



ハートは全部でいくつある? PN 北房ハート広場応援団



ほっとするね TS



美川の雲海 PN 醤油屋の弟子



市役所ロビーにある能登半島地震の義援金箱。今できることを…浅野森脇

▲今年は甲辰

## 募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集  
しています。  
住所、氏名、電話番号を書いてく  
ださい。ペンネームを希望される  
場合も連絡先と氏名が書いてある  
必要があります。  
応募先▶真庭市議会  
宛先は20ページの帯欄に記載して  
います

## 総務委員会が消防団との意見交換

10月19日に真庭市消防団の団長をはじめ副団長および、各方面隊長と意見交換会を行いました。団員数の減少も課題だが、平日昼間の消火活動の対応や水利の確保、消防dXの推進が喫緊の課題であり、少子高齢化と山間部の多い真庭の消防対策には、ひと・もの・金が必要という意見をいただきました。市民の生命・財産を守るため消防団活動に邁進されている皆さんの生の声を聞き、必要不可欠な存在であると再確認できました。



消防団との意見交換会 久世公民館

## 総務常任委員会が勝山高校生と意見交換

11月8日に勝山高校勝山校地1・2年生16名と意見交換会を行いました。生徒の多くが交通機関を使用しているため、列車やコミュニティバスにわくんの増便の要望や、待ち時間を活用できる場所が欲しい、通学路特に駅を降りてから真っ暗なので街灯が欲しい、体育館にWi-Fiが欲しいという意見が多数ありました。昨年に引き続き開催したことで、活発な意見を聞くことができました。



ふせんを使って発表後、記念撮影

## 文教厚生常任委員会が勝山高校蒜山校地で意見交換

11月9日、文教厚生常任委員8人と勝山高校蒜山校地の生徒8人が意見を交しました。1班は卒業後の進学就職、2班は蒜山の魅力、3班は蒜山校地の魅力について話し、各班代表が発表した2時間でした。また勝山校地とつないだ化学のリモート授業も見学しました。校舎内にスイトンがたくさん置いてあり蒜山らしかったです。



一度出てもまた蒜山に帰って来たい…

## 文教委員会が蒜山の事業を視察

11月9日、文教厚生常任委員8人が管内視察を行いました。オープンした蒜山風のパレット、川上小学校の放課後児童クラブを含む改修工事、学習交流センター（仮称）研修宿泊施設の整備状況、消防蒜山分署の予定地は振興局前。公園整備に3億1,000万円など詳しい内容でした。



ミニゴルフ場跡の公園 蒜山風のパレット

## 産業建設常任委員会が真庭高校落合校地で意見交換

11月17日、真庭高校落合校地にて産業建設常任委員会委員と食農生産科5名、経営ビジネス科5名で、真庭市を「住み続けたい街」にするためには何が必要かをテーマに意見交換会を開催しました。3班に分かれて真庭市に足りないものや恵まれているものを話し合い、その後意見発表をしました。高校生から出た意見は、共通する部分がたくさんあり、真庭は、自然豊かであるが、交通、飲食、遊ぶところのなさで住みにくさを感じている。少しでも住みよいまちにと感じた意見交換会でした。



住み続けたいまちにするために 真庭高校落合校地

GIKAI NO UGOKI

# 議会の動き

10月 11月

## 義援金

令和6年能登半島地震災害に対し、真庭市議会として日本赤十字社に義援金を送りました。

## 産業建設常任委員会が先進地視察

10月5日～6日産業建設委員会では、相模原市役所、川口市役所、調布市のNTT東日本研修センターで視察を行った。相模原市役所ではスマートホンが持つカメラやGPS機能を利用し市の施設の破損状況等メールで通報する市民アプリ「パッ！撮るん。」の説明を受け、川口市役所では地域社会への自主的積極的活動に取り組む事業者を応援する地域貢献企業の説明を受けた。NTT東日本研修センターでは最先端のデジタル技術を駆使した研究を学びました。



NTT 東日本研修センター 調布市

## 総務委が福岡市と竹田市を視察

10月16日、17日に福岡市の「市民のためのdX戦略」、竹田市の「交流定住に関する施策」について視察研修を行いました。行政規模の大きさに圧倒させられた福岡市では、市民目線のdXの取組などの研修をし、交流定住の進む竹田市では、

委員から多くの質問をさせてもらい、やれることはまだあるのだと、認識をした研修となりました。



竹田市での「交流定住に関する施策」

## 文教委がいじめ防止の取組を視察

10月23日、24日に岐阜県羽島市と静岡県掛川市の教育委員会へいじめ防止の取り組みについて先進地視察を行いました。羽島市では教育委員会職員の積極的な相談体制作りを学び、掛川市では「こころの相談ノートアプリ」によるいじめ未然防止、早期発見、見逃しゼロ、児童生徒の心のケアなどいじめに対する支援策を教わりました。



こころの相談ノートアプリ開発担当者からの説明 掛川市

## ICT化推進部会が先進地視察

10月30日、31日の行程で千葉県柏市議会、茨城県取手市議会などへ先進地視察を行いました。議会改革度調査2年連続日本一になった取手市議会の「ICT化は市民に分かりやすくするために行う」という言葉が印象的でした。市民に見やすい議会中継、表決システム、発言の同時テロップなど勉強になるものが多くありました。



柏市議会議場の設備を視察

# 3月定例会は

2月21日(水)から3月22日(金)

- 2月21日(水) 本会議(開会・議案上程、提案説明)
  - 3月7日(木) 本会議(一般質問)
  - 8日(金) 本会議(一般質問)
  - 11日(月) 本会議(一般質問・議案質疑)
  - 12日(火)13日(水)14日(木) 常任委員会
  - 18日(月)19日(火) 予算審査特別委員会
  - 22日(金) 本会議(委員長報告・採決・閉会)
- 会議は通常午前9時30分に開会します。  
 ■ 正式には2月13日(火)の議会運営委員会で決定します。

# 6月定例会の請願・陳情は 4月30日(火)まで

6月定例会の請願と陳情の受付は4月30日(火)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。  
 ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。  
 市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

真庭市議会HPをご覧ください



真庭市議会HP



真庭市議会FB

真庭市議会広報まにわ 第75号

令和6年2月1日発行 〒719-1329  
 発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会



上中津井 高岡神社の昇り龍 PN 正香正

今年  
の  
一枚

問題

市民と語る会に  
○人の参加

GIKAI  
Quiz

ザカ!  
クイズ

**正** 解者の中から5人に「蒜山ワイナリーのジャムセット」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。  
 締切…2月29日(木) 消印有効。  
 前号の応募総数は38通で、正解者38人。ご応募ありがとうございました。



## 議会まもろう話

議員は、つらいよ。

3ページにも記載されていましたが、議員は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報なども含まれる)を出すことは禁止されている。愛想がない、偉そうなと思われる人がいるかもしれませんが、公職選挙法で決められているのでご理解いただきたい。もう一つ身近な場面で禁止されているものが、祝儀、香典である。結婚披露宴や葬式に出席を予定している場合であっても、祝儀や香典を事前に相手方に届けること(最初に行われる葬式の日までの間に自ら弔問し、その場においてする香典は対象外)。

また、配偶者などの親族が葬式に代理出席して香典を相手方に渡すことも禁止されている。さらに葬式の際、供花・花輪を相手方に対して出すことも禁止されている。香典は、金銭に限られるので、線香をもっていくことも禁止されている。親しくさせていただいた人が亡くなり営まれる葬儀に献花したい気持ちになるが禁止されているので心の中で「議員はつらいよ」と思うのである。(森脇)

## 傍聴

テレビ等に映ることがありますがご了承ください

真庭市議会を傍聴しに是非お越しください。真庭市役所4階の議場入口で、住所氏名、年齢をご記入いた

M-I-Tをご視聴ください

真庭市議会定例会は、真庭いきいきテレビ「M-I-T」のサブチャンネル(12)で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。

議会改革は更なるステージへ